

2017JR総連春闘を勝利しよう！シリーズ⑪

格差ベアに反対しよう！PART3 ユニオンは格差ベアに 賛成？それとも反対？

2017年度賃金引き上げの闘いは、ベアは1,000円（35歳ポイント）で決着しました。これから配分交渉に移ります。1,000円をどう分配するかです。本紙でも主張した通り、JR東海労は格差ベアには反対です。この間の会社の配分の考えは、「苦勞した者が報われる」ようにすることです。その結果、**管理者に手厚く、若者に薄く**になりました。

さて、JR東海ユニオンはどうでしょうか？ JR東海ユニオンの「2017春季生活闘争ゆめいく情報」No.10（2017年3月17日付）でも明らかですが、配分に関する申し入れの第2項目で、「基本給の改定については、**整合性のある配分**を行うこと」と要求しています。**「整合性」とは一体何でしょうか？**

JR東海ユニオンは、「新人事・賃金制度は苦勞した者が報われる画期的な制度だ」と絶賛しました。この考えからしても、「苦勞した者」は賃金を多くもらえて当然という考えになるでしょう。そうすると、「苦勞した者」にベアを厚くするということになりませんか？それがJR東海ユニオンの言うところの**「整合性」**なのではないでしょうか？ところで「苦勞した者」とは、一体何でしょうか？昇格試験に合格した人ですか？等級が高い人ですか？

JR東海ユニオンの若い組合員の皆さん、一度幹部に聞いてみたらどうでしょうか？**「整合性とは一体何？具体的に説明してくれよ。整合性とは格差なのですか？苦勞した者とは何？」**と質問してみたらどうでしょうか？